

下野市立国分寺東小学校

1 学校課題 「自ら考え、互いに高め合う児童の育成」

～算数科を中心に「聴き合い」・「伝え合い」を大切にした指導の工夫～

上記の研究主題を掲げて5年目である。算数科の指導に焦点を当て、児童の個人差に応じて、「学び合い」と「振り返り活動」を中心に研究してきた。

「全国学力・学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」の検証分析から、本校の児童は自己肯定感がやや乏しく、表現力に課題があることが分かった。また「自分の行動や発言に自信をもっている」「授業で自分の考えや意見を発表することが得意」な児童が少なく、「自分の思いや考えを文章にまとめて書くことは難しい」と感じている児童が多かった。そのため、聞き合いの手順を示し、先を見通して活動が出来るように指導を工夫してきた。また、家庭学習に関する項目が県平均を全て下回っていた結果から、期間を設けて家庭学習の在り方を指導してきた。

2 研究計画

(1) 全体研修

- ・研究の目的を明確にし、全職員の共通理解のもとに進める。
- ・授業研究の成果と課題を整理して、次回に生かせるようにする。

(2) ブロック研修・個人研修

- ・要請訪問やS&Uでの授業研究会は、全職員でファシリテーターを持ち回りして、研究会をもつ。
- ・校内授業研究は個人で進め、一人1授業を校内の職員に公開する。
- ・メッセージカードにより、意見交換をする。

3 研究内容

(1) 具体策

①授業研究の充実

- ・学習するときの約束学習スキルの徹底
- ・興味関心を高める効果的な導入の工夫
- ◎ねらいを明確化と、振り返り活動の工夫
- ◎文章の読み取りの工夫
- ◎学び合いを大切にした授業の展開
- ・算数の学年交換授業の実施
- ・一人1授業の実施

②朝の活動の有効活用

- ・学習タイム(基礎的・基本的な内容の習熟)の実施
- ・読書タイム(物語・説明文)の実施

③個に応じた学習活動

- ・補充的、発展的な学習の実施(パワーアップシートの活用)
- ◎ノート指導の定着と充実

④ICT機器の効果的な活用

- ・課題の提示、画像での説明、振り返り、作品制作などでの活用
- ・教材として蓄積されたソフト等の活用(教材コンテンツ)

⑤指導体制や学習形態の工夫

- ・一斉指導
- ・習熟度に応じたコース別学習
- ◎ペア学習やグループ学習
- ・少人数指導(TT指導)

⑥家庭学習の習慣化

- ◎家庭と連携した家庭学習習慣の定着(家庭学習カードの工夫)
- ・学級懇談会の工夫、学年通信での啓発
- ・家読推進による家庭での読書の習慣化
- ・親子で学習について話し合う習慣の啓発(学習プリントの活用・行事の感想)

⑦小中一貫教育との関連

- ・国分寺中学校区の目指す児童像「学びあい高め合う子ども」を意識した授業の推進

(2) 研究の実際

日時		学年	研究授業（教科・単元など）	指導者
6/26	一人1授業公開	5	算数「小数のわり算」	
6/27	第1回要請訪問	2	算数「たし算」	白石孝子先生（市教委）
7/5	一人1授業公開	3	体育「ワンバンキャッチバレー」	
7/5	一人1授業公開	5	音楽「アンサンブルのみりよく」	
7/6	一人1授業公開	6	家庭「夏の生活を見つめよう」	
7/6	一人1授業公開	1	生活「きれいにさいてね」	
9/14	初任研正式訪問	2 5	国語「どうぶつ園のじゅうい」 算数「あまりのあるわり算」	高山康代先生（下事務所） 海老原忠先生（市教委） 稲見雄太先生（市教委）
9/26	S&U 出前授業	5	算数「単位量あたりの大きさ」	神保元康先生（宇大附小） 岡本直美先生（市教委）
10/15	S&U 出前授業	6	国語「6年1組美術館を開こう」 『鳥獣戯画を読む』この絵、私は こう見る	皆川美弥子先生(宇大附小) 星野友保先生（市教委）
11/6	一人1授業公開	5	算数「三角形と四角形の角」	
11/7	第2回要請訪問	1	算数「分数」	白石孝子先生（市教委）
11/8	一人1授業公開	4	外国語「Do you have a pen?おすす めの文房具セットを作ろう」	
11/28	一人1授業公開	5	道徳 相互理解、寛容「すれちが い」	
11/30	一人1授業公開	6	国語 伝えられてきたもの 狂言「柿山伏」	
12/4	一人1授業公開	1	国語「ともだちに、きいてみよう」	
12/5	S&U コラボ事業	6	算数「場合の数」	日野圭子先生（宇都宮大）
1/15	一人1授業公開	6	社会「平和で豊かな社会」	
1/23	一人1授業公開	4	学級活動「4年生 自まんフェス ティバルを開こう」	
2/14	一人1授業公開	6	理科「発電と電気の利用」	
2/14	一人1授業公開	5	保健「けがの防止」	
2/20	一人1授業公開	ことば	自立活動「発音の改善」	

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

- ・研究授業では、教職員が意欲的に取り組み、活発な話し合いができ、課題を次に生かすことができた。また「一人1授業公開」や「算数学年交換授業」等に積極的に取り組み、授業改善のための意識が高まってきた。
- ・「算数のノートの書き方」について全校体制で取り組み、身に付いてきた。
- ・良いノートを掲示し、考えの過程や記録の仕方の手本を示した。
- ・家庭学習強調週間の活用や家読りレーの実施により、家庭での学習の在り方を啓発できた。
- ・ペア学習やグループ学習を取り入れ、子供同士が聴き合い学び合いながら進めることが定着してきた。
- ・朝の活動や授業中にフォローアップシートやパワーアップシートなどで補充学習ができた。

(2) 今後の課題

- ・ねらいに迫るための手段として、更にICT機器を効果的に活用したい。
- ・ねらいを明確にし、振り返り活動との一貫性をもった授業を進め、指導と評価の一体化を図りたい。
- ・「主体的」「対話的」で「深い学び」ができるように授業研究を中心に進めたい。